



編集・発行 山見妙勢能 山見妙勢能 山見妙勢能
日蓮宗 広報部
〒563-0132
大阪府豊能郡能勢町野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

顛倒の衆生 こんどうのしゅじょう

偉美理庵

気のせいとか歳のせいとか、年々忙しさが増しているよな気がする。

そんな話をしていたら、他にもそう思っているという人が少なくなることが判った。

大阪から東京まで行ってくるにしても、昔なら夜行列車を使っても二日はかかるけど、今は新幹線を使って一日で充分往復できる。飛行機なら何往復もできるほどだ。時間はずいぶん節約できるはずだ。通信にしても、手紙のやりとりではなく、パソコンなどを使ったメールのやりとりなら即時に用が足せる。そ

れなのに、昔より忙しくなってきたというのだ。

便利になった分、私たちは待つ事ができなくなってきたのかもしれない。今すぐに返事を貰う、あるいは返事を出さないと気が済まなくなっているのではないだろうか。その結果、ある程度仕事をためて、優先順位を決めてかかればいいのに、たとえ後からゆっくり取りかかれば良いものでも目の前に積まれた順に取りかかることになり、そういった仕事に振り回されて、大事なことを後に回してそれだけで一日が終わってしまふことになる。

ところで、私たちに就いて一番大事な事とは一体何だろうか。まず家族や自分

が無事安穩に暮らしていくことであろう。その第一は食えることと寝ること、つまり生命の維持である。そして次にはより良い人生を快適に過ごすことだ。

私自身、食べる間、寝る間を惜しんで仕事に没頭するということもあるが、お釈迦さまだって不眠不休で生涯通されたわけではない。

お経に「顛倒の衆生」という言葉がある。本当に大

切なもの、大事なことを忘れて目先の些末事に振り回されているのが、私たちの姿だと説く。そんな私たちを仏さまは優しく見守り、私たちがいつか大事なことに気付いたときにはすぐに手を差し伸べ、導き救おうとされているのである。

合掌し南無妙法蓮華経と唱えることにより、その仏さまの手にすがることができると説かれるのである。

《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

諸子

子供のような大人たち

幼稚にして

国の行く末考えず

未だ識る所

目先の勝ち負けこだわって

あらず

ウソと非難に明け暮れる

戯處に

吞ませてやろうか針千本

戀著せり

正しい見識身につける

『譬喩品第三』

【4月の主な行事】

☆開運祭 20日(木)終日

※寺務所窓口にて開運守授与

☆星嶺祭〜こどもまつり 29日(祝)

11時30分 星の子パレード

11時45分 子供祈願大法要

※法要後は人形劇、太鼓演奏、

かわいいうたも来山!

星嶺祭参加者募集!

☆星の子(祈禱料三〇〇〇円)

参加希望者は11時に集合

★写経会 9日(日)11時

★月例祈願法要 15日(土)13時

★星嶺演奏会 16日(日)11時

★星嶺茶論 16日(日)13時

★鷗様月例祭 22日(土)15時

【5月の行事予定】

☆妙見大菩薩年大祭 15日(月)

11時 特別加持

11時50分 法話倉橋観隆師

13時 星嶺にて祈願法要

※特別加持祈禱ご希望の方は

事務所にて受け付けています

★写経会 14日(日)11時

★鷗様月例祭 22日(月)15時

※火伏守札を授与

★星嶺演奏会 21日(日)11時

★星嶺茶論 21日(日)13時

《交通のご案内》

◆ケーブル&リフト毎日運行中

ストレスを味方にする

相川大輔

四月を迎え、能勢もようやく暖かく、山々は益々青く、春の到来を感じる。この時期、読者のご家族のなかにも、小中高の学校や大学へ入学される方、あるいは新社会人となる方がおられるのではないだろうか。

しかし、そういった新生活を迎えるためには、苦しい入学試験や入社試験をくりぬける必要があったのではないだろうか。筆者も皆さんと同じように入学試験や入社試験を経験したことがあるが、その緊張感とあったらとんでもなく大きなものであった。

現代心理学の中に「ストレスマネジメント」という考え方があり、それによると、そういった緊張はストレスが原因であるという。また、ストレスにはよい働きをする場合と悪い働きをする場合があるようだ。

例えば、入学試験や入社試験以外にも、人前で発表したりスポーツの試合に出たりした時、緊張しすぎてしまい、頭や体が思うように動いてくれないといった経験をもつ方も多いと思うが、これはストレスの働きが悪い形で現れた場合だ。また、アスリートが公式試合で自己最高記録を出すこともよくあるが、これは、適度の緊張が集中力を高め、くれるためで、ストレスの働きがよい形で現れたということである。

ストレスの働きにより、良い結果と悪い結果になる場合があるということだ。では、いったいどうすればストレスの働きをよくすることができるのか。それは小さな成功体験を積み重ねることにより、自信や達成感をより多く心で味わうことで可能となる。つまりは練習、訓練、日々の精進が

趣味を兼ねてホームページを作っている。プロほどではないが、見た目だけはなんとかそれっぽくなった。だが、プロと素人の大きな違いは、想定外をどこまで想定できるかだと言われる。特定の環境できちんと見られても、素人が作ったものは独りよがり、強い心をつくるということだ。より多くの自信と達成感により心を練り上げていき、ストレスを味方にするということである。

日々の精進といえ、合掌しお題目を唱える毎日のご本尊様、ご先祖への供養が浮かぶ。気付かずとも練り上げられた力は、人生の苦しい局面でその苦しさを味方に変えて、より心を強く鍛え上げることになるのではないだろうか。

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

どこか抜け落ちがあったりする。これは会話も同じで文化や背景が違うと同じ言葉でも話が伝わらない。ちなみに、どこまでも想定しどんな人にも分かるように話せるのがお釈迦様だ。私も大切な教えを皆に伝えられるよう精進していきたい。
U.K

俳壇

（みのり）

煙出しの屋根を包める春霞

四ツ手網罟に広がる白魚漁

そぞろ行く若人ふたりつくしんぼ

おもちゃめく一輛電車夕霞

薬屋のみやげ赤青ゴム風船

暦のあれこれ

六曜（三）

六曜の読み方、意味を先月より引き続き紹介します。

先負「せんまけ」と一般的に読まれ、元は小吉とされた吉日でしたが、現在は先勝の逆で何事も控えめにし、相手の出方を待つのが良い日とされています。

大安「たいあん」と読まれ元は「泰安」と書かれたようです。何事にも良い吉日とされ、結婚式場が満員になる日もあります。多くの人が何か事を起こす日に選ばれているのではないのでしょうか。

赤口「しゃつく」という読みが一番使われているようです。六曜の中で唯一時代によって意味が変化しなかった日で、赤の字が血を連想させ、恐れられたのでしょうか、元は陰陽道での凶日とされていました。今でも、お昼（午の刻）以外は凶とされ、祝い事は大凶となっています。